

は し が き

近年、経済のグローバル化が進み国際競争が激化するなかで、生産・雇用・販売・企業経営など様々な面で海外との関連が広がる日本企業が増えていて、今後の対応を考えていくうえで、諸外国における労働の実態について我が国の実態と比較する重要性は益々高まってきています。

また、少子・高齢化の進展や雇用形態の多様化など、我が国の労働を取り巻く環境は変化を続けています。そうしたなかで、我が国の実態について幅広い観点から把握・理解し、今後の労働市場のあり方を展望していくためには、諸外国の労働の実態について把握することが参考になると考えられます。

本書では、このような状況を踏まえ、我が国及び諸外国の労働面の実態について分かりやすく理解できるように、労働に関する各種指標のなかから代表的なものを精選し、グラフや解説を盛り込むなど、労働統計の国際比較資料集として編集作成したものです。本書が、我が国の労働を取り巻く問題に関して皆様のご理解の一助となれば幸いです。

データの更新が難しい指標に代えて新たな指標を取り入れたり、指標の様式を変更するなど、内容の充実を図っています。今回は、統計数値を理解する上で参考となる制度面の説明の充実、各国間のデータが同一定義で比較可能となるようなデータ収集・編集、比較に注意を要するデータの注釈の充実等を図りましたが、まだまだ不十分な点があるかと思えます。今後一層の改善に努めてまいりますので、利用者の皆様方からご意見ご批判をいただければ幸甚に存じます。

平成20年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

労働政策研究所部長（情報統計担当）久古谷 敏行